

全風連だより

創刊号

～全国民俗芸能「風流」保存・振興連合会～



祓い

感謝

祈り

ふりゅう 風流とは

「風流」は中国伝来の言葉で、中国古代の歴史書「後漢書」に書かれており、「前代から残る風習や佇まい、遺風、伝統」といった意味で用いられていました。日本に伝来してからは、雅やかなもの、風情のあるもの、雅趣あるもの、風流な趣といった意味に用いられるようになりました。室町時代の後期には、衣装や手に持つものに趣向を凝らした集団による歌と踊りが、「風流」あるいは「風流踊」と呼ばれるようになり、芸能としての風流は庶民の間で大流行しました。風流の芸能は、ある時代、ある社会に生きる人々が、共通に持つ美意識の上に、出来上がってきたものであり、「庶民の情熱」が作り上げ、庶民によって受け継がれてきたことが、風流の特色の一つであります。

また、風流の芸能には様々な形態があり、太鼓踊に念仏が取り込まれたり、太鼓踊と念仏踊の結合がみられたり、念仏踊から小歌踊や風流踊、盆踊が派生したりします。一見違うように見えますが、少しずつ鎖のように重なり、あたかも一つの輪を作っているような感じ、というのが風流の芸能であります。

創刊にあたって

保存会の皆様には、民俗芸能「風流」の保存継承にご尽力されていることに、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

民俗芸能「風流」は、生活と信仰のなかで、人々の祈りの手立て、感謝のしるし、喜びの表現を華やかに着飾った人々が太鼓や笛といった囃子物や歌に合わせて踊るもので、我が国の民俗芸能の核のひとつを成しています。

各地で長らく伝えられてきた民俗芸能「風流」は、歴史や風土に応じ多種多様な姿を成し、それぞれに特色があり、地域固有の文化形成に大きな役割を果たしています。

しかしながら近年、地域社会の衰退に伴い、担い手の減少や高齢化という問題が深刻になっています。この現状を打

開するため、横につながるネットワークとして、全国民俗芸能「風流」保存・振興連合会を設立しました。保存団体同士が交流を通じて、励まし、支えあい、風流の芸能が持つ共通性と多様性の双方を大事にしていきたいと思えます。先祖の生き方、生きるための工夫や知恵を解き明かす、貴重な文化財であるという意識を持ち、未来へとつなぐ活動をおこなってまいりますので、保存団体皆様のご理解ご協力また、関係者等の更なるご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます、創刊にあたってのご挨拶といたします。

全国民俗芸能「風流」保存・振興連合会
会長 白川正樹（佐文綾子踊保存会長）

設立総会特集

設立の経緯

日本各地で伝えられてきた民俗芸能は、昭和 50 年に文化財保護法が改正され、重要無形民俗文化財として指定され、保護されてきました。

しかし近年、民俗芸能は担い手の減少や高齢化により、保存継承が困難になっており、大きな課題となっています。「風流」に分類される民俗芸能も同様であり、この課題を解

決する一助となるよう、横につながるネットワークとして、民俗芸能「風流」の保存団体同志が交流し、保存継承に向けて励まし、支え合うことを目的に、全国民俗芸能「風流」保存・振興連合会を設立することとなりました。平成31年1月末時点で42団体中(37件の芸能)、33団体(32件の芸能)の加盟同意をいただき、設立の運びとなりました。

設立総会について

平成 31 年 2 月 1 日、全国民俗芸能「風流」保存・振興連合会の設立総会を行いました。

設立総会の冒頭、全員一致で会の設立が承認され、続いて規約の審議及び役員について協議を行い、初代役員については以下の通りとなりました。

会 長	香川県まんのう町	佐文綾子踊保存会会長	白川 正樹
副会長	新潟県柏崎市	柏崎市綾子舞保存振興会会長	茂田井 信彦
監 事	岡山県真庭市	大宮踊保存会会長	福井 章雄
監 事	香川県綾川町	滝宮念仏踊保存会会長	前田 武俊



続いて、2019年度の活動方針、事業計画、会計予算について審議を行いました。
活動方針としては以下の通りとなりました。

1. 民俗芸能「風流」の保存継承においては、後継者の減少や高齢化が急激に進展しており、今後保存継承が困難になることから保存会同志が交流を行い、課題の改善を図る
2. 「風流」の適切な保存・継承をおこなうため調査研究をおこなう
3. 地域の誇りとして「風流」のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取り組みをおこなう

具体的な事業計画としては、「無形民俗文化財に関する情報提供」「ユネスコ無形文化遺産登録に向けた調査」「保存会同志の交流」については、年間を通じて実施することになりました。また、当広報誌「全風連だより」の発刊等を行う予定です。

議事終了後、事務局による全風連加盟の芸能の紹介、文化庁による「風流」とユネスコ無形文化遺産についての説明がありました。最後に、記念講演として、神崎宣武氏による

「中世の遊行者と芸能 一念仏踊や田楽のはじまりから風流の歴史を学ぶ」講演があり、風流について学ぶことができました。設立総会終了後には、懇親会を行い、保存団体同志が交流を深めました。

また、全国民俗芸能「風流」保存・振興連合会を支援する国会議員の会（略称：風流議員の会）も、2月1日に開かれ、激励の言葉また、全風連を支援することを確認しました。



開催の日時 平成 31 年 2 月 1 日 (金) 午後 1 時～午後 4 時 30 分
開催の場所 板橋区立グリーンホール 2 F ホール (東京都板橋区栄町 36-1)
出席者数 98 名 (保存団体 24 名、市町村 39 名、都府県 20 名、文化庁等 15 名)

記念講演

記念講演では、「中世の遊行者と芸能 一念仏踊や田楽のはじまりから風流の歴史を学ぶ」と題し、民俗学者の神崎宣武氏に、ご講演頂きました。

記念講演では、その多様性ゆえに一見ばらばらに見える民俗芸能「風流」も、その大元をたどれば、一遍上人の時代に生まれた一念仏踊にルーツをたどることができること、また、これから若い世代に民俗芸能「風流」を受け継いでいく、その心構えや意義について、とてもわかりやすく講演をして頂きました。民俗芸能「風流」の重要性を認識し、未来へつないでいくことが、私たちの使命であると強く感じた講演でした。



神崎宣武氏による記念講演の様子

「中世の遊行者と芸能 一念仏踊や田楽のはじまりから風流の歴史を学ぶ」

「重要無形民俗文化財 鬼剣舞」保存団体の交流について

「風流」活動報告

全国の「風流」保存団体
活動のご紹介

重要無形民俗文化財「鬼剣舞」は、岩手県奥州市 2 団体・北上市 2 団体で構成されています。現在でこそ 2 市ですが、

重文指定時は 1 市 1 町 1 村に点在し、顔を合わせる機会は 10 年に一度の記念公演などに限られていました。全風連設立を機に再び連絡を取り合う中で、4 団体で一つの文化財という認知度の低さが話題に。全風連の設立は地域の方々に認識を深めていただく絶好の機会になると期待を寄せていました。

そこで、2 月 1 日の設立総会を受け、両市長の記者発表、記念公演へと筋道を描き、地域の方々に 4 団体が集結する公演をお見せしたいと考えました。3 月 10 日は北上市の北上市立鬼の館で、翌週の 17 日には奥州市の胆沢文化創造センターで公演。各団体 2 演目、4 団体で 2 時間のステージでしたが、2 日間で 700 人の方に御来場いただき、大きな拍手と声援を頂きました。4 団体の違いや共通点、特徴が際立つ公演で、両日とも大盛況でした。公演後には 4 団体による初の記念撮影も。チラシも会場もにわか作りではありましたが、「風流」という看板を掲げ新しい一歩を踏み出しました。

(鬼剣舞連合保存会事務局)



観客の目の前で熱演



公演終了後、4 団体で記念撮影

正会員一覧

都府県	市町村	民俗芸能名	保存団体名	重要無形民俗文化財指定日
岩手県	盛岡市	永井の大念仏剣舞	永井大念仏剣舞保存会	昭和55年1月28日
	北上市・奥州市	鬼剣舞	鬼剣舞連合保存会	平成5年12月13日
秋田県	雄勝郡羽後町	西馬音内の盆踊	西馬音内盆踊保存会	昭和56年1月21日
	鹿角市	毛馬内の盆踊	毛馬内盆踊保存会	平成10年12月16日
東京都	西多摩郡奥多摩町	小河内の鹿島踊	小河内の鹿島踊保存会	昭和55年1月28日
	新島村	新島の大踊	新島大踊保存会 若郷大踊保存会	平成17年2月21日 平成17年2月21日
神奈川県	足柄上郡山北町	山北のお峰入り	お峯入り保存会	昭和56年1月21日
新潟県	柏崎市	綾子舞	柏崎市綾子舞保存振興会	昭和51年5月4日
	魚沼市	大の阪	大の阪の会	平成10年12月16日
山梨県	上野原市	無生野の大念仏	無生野大念仏保存会	平成7年12月26日
長野県	下伊那郡阿南町	新野の盆踊	新野高原盆踊りの会	平成10年12月16日
		跡部の踊り念仏	跡部踊り念仏保存会	平成12年12月27日
	佐久市	和合の念仏踊	和合念仏踊保存会	平成26年3月10日
岐阜県	郡上市	郡上踊	郡上踊保存会	平成8年12月20日
静岡県	榛原郡川根本町	徳山の盆踊	川根本町徳山古典芸能保存会	昭和62年12月28日
	静岡市	有東木の盆踊	有東木芸能保存会	平成11年12月21日
愛知県	豊田市	綾渡の夜念仏と盆踊	綾渡の夜念仏と盆踊り保存会	平成9年12月15日
	伊賀市	勝手神社の神事踊	勝手神社神事踊保存会	平成30年1月19日
京都府	京都市	京都の六斎念仏	京都六斎念仏保存団体連合会	昭和58年1月11日
		久多の花笠踊	久多花笠踊り保存会	平成9年12月15日
兵庫県	南あわじ市	阿万の風流大踊小踊	阿万風流踊保存会	平成23年3月9日
奈良県	吉野郡十津川村	十津川の大踊	十津川村小原・武蔵・西川大踊保存会	平成元年3月20日
島根県	鹿足郡津和野町	津和野弥栄神社の鷲舞	弥栄神社の鷲舞保存会	平成5年12月13日
岡山県	笠岡市	白石踊	白石踊会	昭和51年5月4日
	真庭市	大宮踊	大宮踊保存会	平成9年12月15日
徳島県	三好市	西祖谷の神代踊	西祖谷神代踊保存会	昭和51年5月4日
香川県	仲多度郡まんのう町	綾子踊	佐文綾子踊保存会	昭和51年5月4日
	綾歌郡綾川町	滝宮の念仏踊	滝宮念仏踊保存会	昭和52年5月17日
長崎県	大村市	大村の郡三踊	黒丸踊保存会	平成26年3月10日
			沖田踊保存会	平成26年3月10日
大分県	国東市	吉弘衆	吉弘衆保存会	平成8年12月20日
宮崎県	西臼杵郡五ヶ瀬町	五ヶ瀬の荒踊	荒踊保存会	昭和62年1月8日

33団体加入